



藤野 幸子

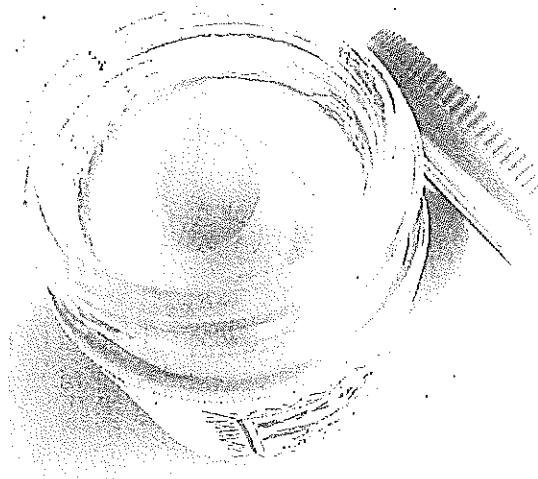
障害者施設商品が知られるようになったのは、ここ最近のこと。その商品数は多く、分野も多岐にわたります。中にはずいぶん前から作られているものもあり、今も地道な作業が続けられています。1月に開かれた施設商品販売会で購入した、「蓮の実団地」（福岡県八女市上陽町）の「馬の油」は、まさにそんな商品でした。

馬の油は昔から民間療法として、やけど、ひび、切り傷、肌荒れなどに使われてきました。人間の皮膚に近い性質を持っており、浸透力が高いのが特長です。

蓮の実団地では、22年ほど前から作っていると聞いて驚き、製造工程を聞いてさらに驚きました。

皮膚にすーっとなじむ

★馬の油 40g瓶・648円、
70g瓶・1080円。蓮の実団地
＝0943 (54) 2233



肘やかかとの手入れにもお薦め

まず、施設に届いた脂身のバックから血管や筋を丁寧に取り除き、半日ほど鍋でゆっくりに煮詰めます。1日かけて何度もこし、1週間以上冷凍し、その後解凍して瓶に詰めてやっと出来上がります。大変な手作業ですが、購入者からいろいろな使用法を聞いたり、喜んでもらえたりするのがうれしく励みになる、とのことでした。

さて、効き目のほどはどうでしょう。実は目尻が乾燥して皮膚がぼろぼろ剥げ、首回りのカサカサも気になっていて、数日塗りましただけで、気が付くと、どちらも良くなっていました。うれしくて今は洗った後、顔全体に塗っています。化粧落としにも使います。すーっとなじみ、匂いはほとんどありません。100%自然のものだから、安心して使い続けています。

（アリヤ編集長、福岡市）

新聞記事切り抜き
29年 2月 23日 木曜日 No. 1
朝日・毎日・読売 (西日本)・その他()